

## □ オ・セヒョク

1981年生まれ。劇作家・演出家。正義の天下劇団コルバン芸術監督。劇団「project BUT」代表。制作集団「never ending play」メンバー。2011年、韓国新人作家の登竜門である新春文芸に2つの作品が同時入選し、華々しいデビューを飾る。以後、社会風刺を込めたコメディやミュージカル、韓国伝統芸を生かしたマダン劇など、多彩なジャンルの公演を続け、国立劇団など外部への作品提供、演出でも活躍している。2016年、『地上最後の冗談』がソウル演劇人大賞劇作賞、『ゲッペルス劇場』が演劇評論家協会 BEST3 に選ばれる。2017年にはミュージカル『僕とナターシャと白いロバ』で、第一回韓国ミュージカルアワード演出賞を受賞。



## □ ソ・ジヘ

1979年生まれ。演出家。劇団「プロジェクト・アイランド」代表。2012年に上演したアソルフガード作の『アイランド—監獄島』で演出家として頭角を現す。2018年の『日常の狂気』で韓国演劇界に生々しい衝撃を与え、同年の主たる演劇賞を総なめにし、最も期待される演出家として注目される。その後、国立劇団で、人民革命党事件を扱った『孤独な沐浴』を演出し、大きな反響を呼ぶ。芸術の普遍性の幅を広げるべく、常に人間の根源的な実存について同時代の観客との疎通を図り続けている。西洋の様々な翻訳作品にも挑む彼女の卓越した演出の技量は、国内だけでなく海外でも注目を集めている。



### 【セミナー内容】

**1日目** 11月26日(金)19:30～22:00

「翻訳戯曲の演出について」  
 レクチャー & ディスカッション  
 講師：ソ・ジヘ ゲストパネリスト：松本祐子（文学座）

**2日目** 11月27日(土)19:30～22:00

「韓国の現代演劇—ミュージカルなどについて」  
 レクチャー & ディスカッション  
 講師：オ・セヒョク ゲストパネリスト：ラサール石井

**3日目** 11月28日(日)18:30～21:30

オ・セヒョク戯曲リーディング&アフタートーク  
 講師：オ・セヒョク  
 アフタートーク：演出家および出演者

### リーディング『楽屋のお掃除』

脚本：オ・セヒョク  
 翻訳：洪明花 演出：柏木俊彦（第0楽章）  
 出演：金恵玲、佐野陽一（サスペンデッズ）、  
 実近順次、山下直哉（流山児★事務所）

清水邦夫の『楽屋』にインスピレーションを受けて書かれた作品。  
 【あらすじ】撤去される直前の劇場の楽屋。‘全てを壊しに’来た解体業者と‘美しいものが消え去る姿’を見に来た女優。不思議な空気が流れる空間で、彼らは彼らだけの独白を始める。全てがなくなった瞬間、女優の独白が鮮やかに響き渡る。

【募集人数】50名程度  
 【講師言語】韓国語 日本語通訳あり  
 【参加費】1,500円(通し券) ※協会員無料

### 【お申し込み・問い合わせ】

チケットシステム【Peatix】からお申し込みください。  
<https://jdaiad-korea2021.peatix.com>



左記のシステムが利用できない方は、件名「韓国特集2021」を記載。本文に、①お名前(氏名・ふりがな) ②連絡先(電話番号、メールアドレス)を明記の上、メールにてご応募ください。のちほど詳細をご連絡いたします。

✉ [jda.iad.info1@gmail.com](mailto:jda.iad.info1@gmail.com)

☎ 080-3124-7210 (担当：柏木)

チケットシステム【Peatix】ではレクチャー各回の直前まで(メールでのお申込みは、11月24日まで)

## 国際演劇交流セミナーとは？

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と、演劇交流をかさねてきました。1999年からは文化庁による本格助成のもと、「国際演劇交流セミナー」を通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を連続的に開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、および劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施いたします。

2021年度セミナー  
 香港特集12月  
 アンドリュー・チャン